



東京都社会保険労務士会

千代田統括支部

会報

発行人 千代田統括支部長 段下 正志

事務局 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-2-10-206

段下正志事務所内 ☎03(3288)0354

URL=<http://www.sr-ccs.com>



国会議事堂(千代田区)

撮影：広報委員 市村 公頼

- 新春研修会・賀詞交歓会
- 必須研修会
- 講師体験記(労働保険新規加入説明会)
- 実務修習セミナー体験記
- 新入会員オリエンテーション
- おらが国自慢
- ビール工場見学
- 東京会主催統括支部・支部対抗ボウリング大会
- 監督署・ハローワーク名札掲示板の更新
- 政治連盟だより
- 新入会員情報
- あとがき

新春研修会・賀詞交歓会

平成27年1月13日(火)、お茶の水ホテルジュラクにて、新春研修会及び賀詞交歓会を開催しました。新春研修会は、元プロ野球選手の高橋慶彦氏をお迎えして、「出会いの人生」をテーマに講演とトークショーの二部構成でした。研修会終了後は、石川雅己千代田区長、大野実東京都社会保険労務士会会長、行政関係者をはじめ多数のご来賓をお招きして賀詞交歓会を開催しました。



高橋慶彦氏は1974年に広島東洋カープに入団、1970年代後半から1980年代の赤ヘル黄金時代に1番打者として活躍し、3度の盗塁王を獲得、1979年には33試合連続安打の日本記録を樹立しました。その後、ロッテ、阪神へ移籍し、1992年に現役を引退されました。

現在は、株式会社ウエルズホーム広報部長として野球教室を運営し、またTV・映画出演、執筆など幅広く活躍されています。

浜田省吾さんの曲が流れる中、高橋氏の登場です。高橋氏の選手時代の活躍を見ていた世代も見られなかった世代も、ともに注目する中、講演テーマ「出会いの人生」の講演が始まりました。

最初の野球との出会いは両親、そして父親とのキャッチボールです。小学生の時に野球チームに入り、中学に入ると目標は甲子園になりました。そして、甲子園に行くために強豪校の早稲田実業高校を受けたものの落ちてしまいました。でも、小中学校の先輩から声をかけていただき城西高校に入り、3年生の時に甲子園に行くことができました。これも出会いです。

甲子園に出て夢を実現しゼロになったとき、プロ野球のスカウトが来て、広島から3位で指名されました。しかし、入団はしたものの、1年で首になると思いました。一緒に入った高卒の選手との年俸の差があまりに大きかったのです。その時に出会ったのが、コーチの古葉竹識さんです。「足だけで飯が食えるぞ、何か一つ専門職があればいいんだ」と言われて、自分はどうか成長すればいいのか、どう頑張ればいいのか、古葉さんがプロとしての方向性を示してくれました。

足を使う選手だから長打はいらぬことに気づいたものの、スピードも技術もプロのレベルについていけない状態でした。当時は、給料が安く遊ぶお金はなかったものの練習する時間だけはありま

した。やる気もあったので、時間割を決めて毎日練習しました。下手だから上手くなるし、伸びしろが見えるので練習も楽しい、楽しいから身体が動き、気づいたらもっと上手くなっていました。

その後、ショートや外野を経験しましたが、他のコーチ全員が反対する中で古葉さんの長期ビジョンのもとショートに移り、スイッチヒッターになれと言われました。ずっと右で打っていた自分はどうかしたらいいのか考えました。そうだ、小学校4年から20歳まで10年分を1年で振ればいいんだと覚悟を決めました。

実は、膝を壊して、医者には野球は無理と言われた時期もありました。ダメもとでテーピングをして相手にわからないように自分を追い込んでいる、そんな自分を古葉さんが使ってくれました。

出会いから自分の方向性に気づき、目標を持って自分をどう成長させるか、出会いを活かすのは自分次第、その中で一番大切なことは人の話を聞く素直さであるとのことを強調されていました。

楽しく熱い講演の後は、千代田支部の岡崎和光氏(大の広島ファン)とのトークショーです。

カープのユニフォームを着た岡崎氏は社会保険労務士ならではの進行により、現役時代の裏話、指導者の立場になって気づいたこと等会場から笑い声やどよめきが起る楽しいトークショーでした。また、現在と今後のカープについても話が広がりました。特に印象に残ったのは、「指導者としての熱血指導は自分がしたいだけ、育つのは選手、育てたのは俺と言ってる人は上手い人しか相手にしていない」という言葉でした。

最後に、ご自身が出演されている映画「アゲイン〜28年目の甲子園」の話、経営している飲食店の労務管理、現在の野球界まで話は尽きず、最後に映画チケットの抽選会を行い、新年にふさわしい充実した研修会となりました。

(広報委員：横山 玲子)



千代田統括支部必須研修会

平成27年2月17日(火)、損保会館において、必須研修会を「昼の部」と「夜の部」に分けて開催しました。研修テーマとしては、「多様な正社員の雇用管理」を取り上げました。

『多様化する非正規雇用社員及び「多様な正社員」の雇用管理』

研修内容は、第1部「社員の多様化と伝統的人事管理の限界」と第2部「これからの人事管理」と分けてお話しいただきました。

はじめに、企業のあるべき人事管理は、企業の人事管理の都合では決まるのではなく、企業が社員に求める働き方と、社員が求める働き方の2つの要因によって決まるとのことです。

企業が社員に求める働き方、社員が求める働き方はともに変化をしてくれています。変化の背景としては、時間、場所、仕事の内容が育児や介護、病気治療のために制約される「制約社員」が増えていることや政府の政策等（男女雇用機会均等法、労働契約法、パート法、高年齢雇用安定法等）による社会的圧力、ワークライフバランス、ダイバシティ、両立支援策等の柔軟化の施策などによります。このような働き方の多様化に伴い均衡処遇の問題もでてきています。労働意欲と人材の活用のバランスを図るために人事管理は総合的な対応と社員の多様化を前提として、たとえ人材活用のコストがかかっても、基幹社員の人材調達・活用範囲の拡大のために総合的な人事管理を構築することが必要となってきました。

社員はライフプランを踏まえて「働き方、キャ



講師
立正大学経営学部
准教授

西岡 由美氏

リア」を自己決定し、企業と相談として仕事内容を明確にし、交渉（相談）をしていくことも大切です。処遇決定の基本は、仕事が原則ですが、企業も無制約社員と制約社員の異なる人材活用への対応が必要となります。

社内で育てて活用する長期雇用型社員の育成時期には能力を重視し、今の能力を活用する短期雇用型社員は仕事を重視した処遇決定が合理的です。

「多様な正社員」の人事管理は、「社員の多様化」へ対応するための人事管理の一環であり、そのポイントは制約と仕事配分・キャリアトラックの選択の無差別化です。

また、企業が迫られている労働契約法第18条の「無期転換ルール」に照らせば、希望者全員の処遇条件の変更なしでの無期転換もできますが、賃金以外の処遇（賞与、退職金等）についての他の正社員との均衡問題を考慮しなければなりません。働き方の多様化を受け入れることにより優秀な人材確保や定着性の向上が図れ、ワークライフバランス支援もでき、企業にとっても社員にとっても良い人事管理を行うことができるでしょう。

(広報委員：安田 恵子)

講師体験記

「労働保険新規加入事業所説明会の講師を務めて」



高橋 桂也(麹町・開業)

平成27年2月23日(月)に東京労働局九段第3合同庁舎会議室において、「労働保険新規加入事業場説明会」の講師を務めさせていただきました。

新たに労働保険の適用を受ける事業場を対象とした説明会で、約70社の方々にお集まりいただきました。最初に中央労働基準監督署の方から「労働基準法」、「労災保険給付」に関する説明があり、その後、私から「雇用保険と社会保険（健康保険と厚生年金保険）」について、全般的な説明をさせていただきました。

限られた時間で、新たに事業を始めたばかりの

方々に、雇用保険と社会保険の制度をまとめて理解していただくにはどうしたらいいか、大変苦慮しました。

説明する時間は45分間と限られており、この時間で1から10まですべて詳細に説明をするには限界があるため、各制度の概要、加入すべき会社と被保険者の要件、保険料の計算の仕方、どんな保険給付がもらえるのか、その他、特に今後を踏まえて重要な部分や経営者として最低限知っておくことで役立つ助成金の内容についても少し説明させていただきました。

拙い解説でしたが皆様に真剣に聞いていただきました。このような貴重な機会を得ることができ大変感謝しております。この度の説明会が、ご参加いただきました企業様の経営向上の一助となれば幸いです。

実務修習セミナー体験記

開業部会では、平成26年4月からの1年間、各月1回(全12回)の実務修習セミナーを開催しました。参加された受講生の方々お疲れ様でした。受講生を代表して3名の方の感想をご紹介します。

荒 久美子 (麴町・開業)

私が実務修習セミナーをととても魅力に感じた理由は、講師の方のリアルな体験談をお聞きできることにあります。1回3時間の講義を長いと感じさせないのは、先生方が体験されている「現場での経験」が多く盛り込まれているからです。

社会保険労務士として働き始めてから、ミスをしたくないように、お客様により良いサービスを提供できるようにと、常に心を配り仕事をしています。しかし、机上で得た知識ですべての事案に対応するには限界があり、実務に優るものはないと日々感じています。この実務修習セミナーは限りなく実務に近づけた内容で、実際に考え、手を動かすため記憶にも残りやすく、学んだ事例と同様のことが実際の現場で起こった場合、すぐに対応できるようになっているので、大変役に立っています。

このセミナーに参加させていただくことで、リアルな実務を疑似体験することができ、また、講師の方や他の参加者の方々ともお知り合いになることができ、社会保険労務士としての「幅」が広がった気がします。

大変お忙しいなか、貴重なお時間を割いて講義をしてくださる講師の方、このような有意義なセミナーを開催してくださる千代田統括支部の先生方に、心より感謝申し上げます。実務修習セミナーで学んだことを「虎の巻」として、自信を持って日々の実務に励んでいきます。

藤田 久子 (神田・勤務等)

「実務修習セミナーの資料がアップされました!」と統括支部からいただくメールに毎回、心が引き締まる思いをしてきました。

昨年の事業所異動に伴い、千代田統括支部に入会して約1年が経ちます。この間の実務修習セミナーの受講は、私にとって非常に有意義でした。

第一に、社会保険労務士として第一線でご活躍の先生方の講義を受けることができる貴重な機会でした。沢山の経験と知識をお持ちの先生方の具体的かつポイントを押さえた講義は、非常に分かりやすく、毎回、多くの発見がありました。

第二に、講義の進め方を勉強できました。私は、公共職業訓練校で授業を受け持っており、分かりやすい伝え方・教え方・時間配分の仕方など、常に試行錯誤してきました。先生方の講義から沢山

の学びを得ることができました。

そして、第三に、セミナー終了後の「(講師への)お疲れ様会」です。美味しい飲み物・食事はもちろんのこと、諸先生方からの貴重な情報や意見が伺える又とない機会となりました。つくづく、最初から参加していれば・・・と後悔しきりです。

講師の方はもちろんのこと、このような貴重かつ有意義なセミナーを企画・運営いただいた千代田統括支部の諸先生方にこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

後藤 武 (神田・開業)

昨年開業登録をし、早いもので1年が過ぎました。

社会保険労務士試験の受験生時代は理論的な事項は多く学びますが、実務的なことに関しては学ぶ機会が少ないです。勇んで開業登録したものの、当初は書類の書き方も試行錯誤しながらでした。

実務修習セミナーを受講させていただき、毎回、講義では例題に基づき実際に書くことによって書類の作成方法を学んだり、講師の方の実務上の体験談を聞かせていただいたりと、私のような新規開業の者にはとても有意義な時間となりました。

また講義終了後の懇親会においても、講師の方、講義に参加されている諸先輩方と交流を図る機会をいただき、そこで広がった人脈は私にとって大変貴重なものとなっております。

登録前はこのような研修を開催していただけたらと思っていなかったので、開業登録はしたものの大きな不安を抱えていたことを覚えております。2年目の今年は、学んだことを基礎として、自信を持って実務を進めていきたいと思っています。

最後になりましたが、実務修習セミナーを運営してくださいました千代田統括支部の諸先生方、セミナー講師の方にお礼を申し上げます。



新規入会者オリエンテーションを開催！

平成27年2月24日(火)、お茶の水ホテルジュラクにて新規入会者オリエンテーション(平成26年1月～12月新規入会者又は所属者対象)を開催しました。来賓挨拶から始まり、組織の活動内容等の説明、自己紹介、新入会員と主催側先輩会員の熱意溢れる質疑応答がありました。新入会員の方々からいただいた自己PRや今後の抱負等の一部をご紹介します。新入会員の皆さん、今後ともよろしくお願いいたします。



オリエンテーション風景

☆登録は平成26年の5月ですが、以前より社会保険労務士事務所に勤務し、1・2号業務から就業規則作成、給与計算まで幅広く経験しております。勤務会員としてできることは何か考え、日々の業務に生かしていきたいと思っています。今最も気になるのはマイナンバー制度です。

【M・M・勤務等】

★私はソフトウェア開発会社も経営しているため、二足わらじでの活動となります。ソフトウェア開発の労働環境、社会保険環境を少しでも改善できたらと考えております。同時に中小企業向けに大企業に負けないような労務管理が実現できるようなサービスを構築していきたいと考えています。

【橘 砂登士・開業】

★通算19年、金融業界で人事全般に携わってきました。将来の開業に備えて引き続き勉強していきたいと思っています。金融業界の報酬・評価制度、人材育成、合併対応、労務等について、何かお役にたてればと思っています。

【石田 雅彦・開業】

★昨年10月1日に勤務社会保険労務士として登録しました。50歳位まで銀行で主に中小企業の融資担当をし、その後今の財団法人に転職し8年近くなります。経理、総務と経験し非営利法人の分野全般でアドバイスができると思います。若い方に負けないよう頑張りたいと思います。

【中島 真一・勤務等】

★行動力があるので、基本を大事にしたうえで積極的に色々な分野にチャレンジして行き、今後は全国に対応できる社会保険労務士を目指しています。また、大相撲が好きなので、支部に相撲同好会があれば是非入りたいです。

【石橋 正紹・開業】

★勤務等ですと会員の皆様と接する機会が限られますが、行事・委員会等の活動に参加極力して、支部活動の活性化に少しでもお役にたてればと思います。また、会員の方々とのネットワーク構築が自分にとって何よりの財産になると信じております。

【阿部 正夫・勤務等】

★得意分野は給与計算です。今後は研修等に積極的に参加し、より実践的な知識を身に付け、社会保険労務士として恥ずかしくないよう自己研鑽に励んでいきたいと思っています。

【玄地 幸寛・勤務等】

★人事・総務部門を中心に勤務し、人事上のトラブルも数多く経験してきましたが、社会保険労務士として、新たにお客様のお役に立てるよう、知識と経験を積みながらチャレンジして行こうと思っています。

【O・Y・法人社員】

☆電気メーカーで営業、研修講師などをしていました。元気と声の通りだけは自身があります。派遣業、介護事業所などの新規指定申請、助成金申請を手がけております。女性がモチベーションをもって仕事ができる研修・制度設計や障害年金申請、メンタルヘルス分野全般の専門家になりたいと思っています。

【小嶋 かつら・開業】

★規模50人以下の飲食・理美容・情報通信・建設・不動産・貸金業等業種を得意先としております。自分の経営安定をさせるべく、効率的な事業計画の立案を目指していきたいと思っています。

【M・K・開業】

★年金事務所業務対応の中で、来訪者や職員の方々のお役にたてるように、手続き関係やマシン操作等の知識や技能をさらに高めていきたいと思っています。

【坂田 憲宏・開業】



懇親会風景



何気に目立たない県。

岩崎 仁弥（麹町・勤務等）



滋賀県といえば、琵琶湖のイメージしかないのでしょうか。ほとんど琵琶湖なのにどこに住んでいるの、と尋ねられます（実は琵琶湖の面積は滋賀県の6分の1程度）。京都からあまりに近く県庁所在地の大津駅には特急すら止まりません。それでもわれらが滋賀県人は気にしません。欲がないのでしょうか。

目立たないおかげで文化財は、京都、奈良に次いで多く残っています。世界遺産の比叡山延暦寺、国宝の彦根城、紫式部が源氏物語を執筆した石山

岡山ラーメンの魅力

金光 由美子（麹町・開業）



私の生まれは、岡山県倉敷市です。ここ数年はIターンの人気もあるそうで、天災が少なく、穏やかな気候と美味しい食材に恵まれた「晴れの国」です。

白桃、ぶどう、瀬戸内の魚、豊かな食の土地なのですが、今回は敢えて「岡山のラーメン」をご紹介します。

岡山のラーメンは鶏がらや豚骨ベースの醤油ラーメンが多く、甘みの強いものが多いです。また、岡山市内では「デミカツ丼」というデミグラスソースのカツ丼を出す店があり、ラーメンとデ

今年は「カープ」がアツい！

浅井 英憲（神田・開業）



私は幼少期から高校卒業まで広島市で育ちました。広島といえば「宮島」「原爆ドーム」「もみじ饅頭」等ありますが、「広島東洋カープ」を忘れてはなりません。

市民球団として愛され、「ミスター赤ヘル」山本浩二氏や「鉄人」衣笠祥雄氏、今年の社会保険労務士会千代田支部賀詞交歓会の講師として登壇下さいました高橋慶彦氏が活躍された「赤ヘル黄金時代」にリーグ優勝を果たしました。

最近は球場も新しくなり、「カープ女子」とい

会員の皆様にお国自慢をしていただきました。

各人それぞれの自慢を読んでいると
思わず旅行に行きたくなります。

寺、ラムサール条約登録湿地の琵琶湖など。それでも、観光で儲けようという気はありません。おかげで県全体が観光の穴場です。

一方で、ひこにゃん、ラッピング電車、オペラハウス（びわ湖ホール）など新しいものには目がないようです。最近では知名度も上がってきたようです。

滋賀県人がいうのも何ですが、つくづく変な県です。一見目立たず、出しゃばらず、しかしキラリと光るお国。それが私のふるさとです。



ミカツ丼というランチもあります。

写真は「やまと」というお店の中華そばです。外観は洋食屋ですが、ラーメンが有名なお店です。地方都市のラーメンとは思えない、洗練された味をごくごく普通のおばちゃんが作っています。

思わぬ食との出会いも、地方での一つの楽しみなのかもしれません。土地の美味しいものを現地の人に聞いてみたり・・・そんな楽しみを持ちながら各地を訪問できれば、より有意義な時間になるのではないのでしょうか。



う愛称の女性ファンも増え活気に満ちてきましたが、1991年以来リーグ優勝から遠ざかっている状況です。

しかしながら、今年はエースとして活躍した黒田博樹投手が大リーグからの復帰が決まり、前田健太投手との二枚看板で近年にない投手力となります。さらに新井貴浩選手も阪神から復帰したことで、野手のレギュラー争いに拍車がかかりチーム全体の相乗効果が期待され、今年は「優勝」も夢ではないとカープファンは期待に胸を躍らせています。



ビール工場見学

平成27年2月28日(土)サッポロビール工場見学会に参加しました。

場所は、JR津田沼駅からバスで約15分の工業地域の一画にあります。昔は恵比寿にあったのですが、1988年にこの地に移転され、敷地面積17万2000平方メートル（東京ドーム13個分）の広大な千葉工場で出荷されるビールは年間350ml缶で9億本分というすごさです。

まず、生と生でないビールは何が違うのかの説明から始まり、原料、仕込からパッケージングに至るまでの工程の説明があり、熱処理をしていない「生」を缶ビールにする技術はまさにサッポロ黒ラベルのおいしい理由そのものでした。最後はできたての生ビールをいただきました。「パーフェクトビール」というここでしか味わえない品種でとても美味しかったです。さらに缶ビールのおい



しい注ぎ方も伝授してもらい、お土産にグラスまでいただきました。

その後隣のビール園でジンギスカンを皆で食べて終了しました。今まで以上にビールが好きになり、楽しい一日でした。

(広報委員：末松 弘美)



東京会主催統括支部・支部対抗ボウリング大会



平成27年2月19日(木)、東京都社会保険労務士会主催の統括支部・支部対抗ボウリング大会が行われました。当支部からは、2チーム8名が参加しました。残念ながら優勝は逃したものの、3位入賞まで12ピン差の第4位と健闘しました。優勝は前年に引き続き港支部で11連勝とのことでした。

メンバー8名は、それぞれ3ゲームを投げ、尻上がりに高スコアを出す人、疲れがみえる人様々でしたが、日頃の実力が出ていれば間違いなく優勝を狙えたところでした。是非、来年に期待したいものです。

(広報委員：石澤 清貴)

【チーム構成/敬称略】

Aチーム				Bチーム			
青木	哲郎	半沢	公一	青山	弥生	十佐近	三生
浅井	英憲	和田	稔	岡崎	和光	深田	康弘



労働基準監督署・ハローワーク名札掲示板の更新

昨年12月7日、飯田橋公共職業安定所及び中央労働基準監督署の名札掲示板の更新が行われました。前回の変更から大きな1枚のシートに全員が記載されるという方式に変わっています。そのため、入念にデータの確認を行うことになりました。開業・法人社員会員であるかの照合、事務所所在地の照合を会員名簿で行うことに始まり、施工業者の原稿に誤字がないかと慎重を期して行いました。確認作業で多くの方々に照会の連絡をさせていただき、お手数をおかけしました。

掲示板には管内の中央・文京支部の社会保険労務士の皆さんも掲示されていますが、当支部からは144名の開業・法人社員社会保険労務士の名札

が掲示され全体の約50%強を占めています。改めて当支部の規模の大きさを感じた次第です。

きれいになった掲示板は社会保険労務士全体の知名度アップにも資すると思いますし、そこに掲載されている皆様にとっても個々の知名度や信頼感アップに資すると思います。是非、新しい掲示板をご覧くださいと思います。せっかくですから、ご自分の名前前で記念撮影などいかがでしょうか。

(開業部会：深田 康弘)



年頭の私の挨拶で、昨年末の社会保険労務士法の第8次法改正時に付帯決議がなされたことにより、これからの制度推進のための方策に変更が必要ではないか、と述べさせていただきました。

従来から国会議員、地方公共団体議員へのアプローチだけでなく、厚生労働省、弁護士会等の周辺法律事務系国家資格団体との協議はなされてきたところです。しかし、今後はより広い範囲の方々との折衝が要求されることになると思います。

私は、社会保険労務士が有する「多様性」に注目したいと考えます。我々士業の登録形態は、法人、開業、勤務等と分類され、勤務等には、民間企業勤務、公益団体勤務、社会保険労務士事務所勤務、その他士業勤務等もあり多彩です。これは、

有資格者が基本的に社会保険労務士制度を通じて社会とかかわりを持とうという意志の表出だと理解しています。社会保険労務士個々に有するネットワークを結集してこの制度を充実させることこそ、制度そのものの健全な発展と労働者の福祉の向上に資することができるものと考えます。

先日お届けした政治連盟の機関紙に、アンケート用紙を封入しました。しかし、回収実績が低く、統括支部の例会や研修会場で重ねて皆様にご協力をお願いしました。おかげさまで多くの回答を得ました。現在集計中であり、その結果は後日お知らせいたします。今後も皆様の忌憚のない意見を頂き、政治連盟の活動に活かしてまいります。

(政治連盟支部会長：橋本 敬司)

新入会員を紹介します

平成26年11月1日~1月31日

入会年月日	氏 名	種 別	入会年月日	氏 名	種 別	入会年月日	氏 名	種 別
H26.11.1	小 嶋 かつら	開 業	H26.12.1	船 岡 誠	開 業	H27.1.1	奥 村 広美	開 業
H26.11.1	小 山 国和	開 業	H26.12.1	谷古宇 倫子	開 業	H27.1.1	森 敏 夫	開 業
H26.11.1	岸 江 美佳	勤務等	H26.12.1	井 口 陽子	勤務等	H27.1.1	五十嵐 敏之	勤務等
H26.11.1	佐 野 恩	勤務等	H26.12.1	大 崎 能正	勤務等	H27.1.1	石 田 和美	勤務等
H26.11.1	渡 邊 智子	勤務等	H26.12.1	川 窪 明徳	勤務等	H27.1.1	岩 田 一仁	勤務等
H26.11.17	中 村 嘉弘	開 業	H26.12.1	川 崎 ひとみ	勤務等	H27.1.1	沖 山 正勝	勤務等
H26.11.17	加 藤 祐司	勤務等	H26.12.1	高 田 怜佑	勤務等	H27.1.1	桑 原 稔	勤務等
H26.11.30	金 光 由美子	開 業	H26.12.1	藤 田 康平	勤務等	H27.1.1	佐 藤 尚子	勤務等
H26.11.30	北 條 孝枝	勤務等	H26.12.4	小 山 菜穂子	勤務等	H27.1.1	清 水 さおり	勤務等
H26.12.1	北 角 友香子	法人社員	H26.12.8	田 畑 壽 邦	勤務等	H27.1.1	徳 永 政 一	勤務等
H26.12.1	小 関 義 行	法人社員	H26.12.9	石 田 雅 彦	勤務等	H27.1.1	西 浦 楠 夫	勤務等
H26.12.1	山 田 順一朗	法人社員	H26.12.15	吉 田 敬 子	開 業	H27.1.14	岩 崎 望	勤務等
H26.12.1	金 井 隆 行	開 業	H26.12.17	川 崎 史 子	勤務等	H27.1.31	土 屋 留美	開 業
H26.12.1	橘 砂登士	開 業	H26.12.25	植 竹 典 子	勤務等			

あ と が き

春たけなわ、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

4月号の会報誌発行をもって、これまでの2年間の広報委員会での編集体制に一つの区切りを迎えました。私は、この2年間で編集担当を3回経験しました。執筆者の方の原稿を読みつつ、それらが紙面として完成していく楽しさを常に感じながら、作業をしていました。

また、編集担当を経験することで、担当者間での調整力や締め切りまでに仕上げるためのリーダーシップが、身に付いたように思います。貴重な機会をいただきましてありがとうございます。

同時に、新体制での千代田統括支部、そして広報委員会もスタートします。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。(広報委員：上江 誠)

春です。「春になれば すがもとけて どじょっこだの ふなっこだの…」の童謡にもあるように皆がワクワクする季節です。

私はといえば勤務先では所属は変わらないのですが、人事異動や入社、退職に伴う社会保険の手続きに追われることになります。新しい人が新しい風を感じさせてくれたり、真新しいファイルが並ぶと気分がリフレッシュして気持ちがいいものです。

昨年より広報委員を務めさせていただいていますが、初めての編集では慣れないことばかりでしたが私なりに一生懸命やりました。これからもフレッシュな風となれるよう、より一層がんばりたいと思います。

(広報委員：末松 弘美)